



校長室より



令和6年12月10日

No.26

自分らしく生きる 豊かに生きる

12月9日（月）、第3回の学校運営協議会が開かれました。この会の冒頭に、生徒会役員の生徒2名が、11月12日（火）に実施した松林清掃の報告をしてくれました。「ひっつき虫がいっぱいついてたいへんだった」「保護者もたくさん来てくれた」「ゴミが埋まっていて掘り出すのがたいへんだった」など緊張しながらも素直な感想を述べてくれました。また、この活動に、学校運営協議会の委員さんたちが応援してくれていたことを感謝していましたね。地域への恩返しという思いを大切にして、今後も無理なく継続していってくださるとうれしいです。



みはま支援学校では、来年度から学部基礎集団を変更して運営していきます（下図参照）。これは、隣接する和歌山病院の入院生が減少の一途にあり、集団保障ならびに同年代のかかわりを大切にしていきたいこと、「一つのみはま」を意識しながら多様な仲間を思いやる気持ちを育てることにつなげたいという思いがあります。入院生を1ブロック、通学生を2ブロックとして、学級や授業の集団はこれまでどおり配慮していきます。

学校運営協議会の中でも、子どもたち同士の距離が近くなっていくだけでなく、教員の意識も変わっていきますねという感想をいただきました。一人一人が大切にされ、みんなで学んでいく姿勢をもつことができれば、みはまがずっと大事にしてきた安心感も深まっていくと信じています。

開校～令和6年度まで

令和7年度～

